

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年3月10日 (2016.3.10)

【公表番号】特表2014-523275(P2014-523275A)

【公表日】平成26年9月11日 (2014.9.11)

【年通号数】公開・登録公報2014-049

【出願番号】特願2014-513668(P2014-513668)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/42 (2006.01)

A 6 1 B 90/00 (2016.01)

【F I】

A 6 1 B 17/42 3 1 0

A 6 1 B 19/00 5 1 1

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年1月22日 (2016.1.22)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

制御装置と、

遠位端と、前記制御装置に接続された近位端とを有する細長カテーテルシースと、

前記細長カテーテルシースに結合され、前記細長カテーテルシースに結合されたままで前記細長カテーテルシースに沿った近位停止位置と遠位停止位置との間で前記細長カテーテルシース上をスライド可能な先端保護スリーブと、

前記細長カテーテルシースの遠位端から第 1 の距離のところの前記細長カテーテルシースに固定された雄干涉部分と、前記先端保護スリーブに設けられた雌干涉部分とを備えた干涉停止部と

を備え、

前記干涉停止部が、前記遠位停止位置を決定すると共に、前記先端保護スリーブが前記細長カテーテルシースの遠位端から滑り落ちるのを防止するように、前記干涉停止部の前記雄干涉部分は前記雌干涉部分が前記細長カテーテルシース上をスライドするのを妨害し、また、前記先端保護スリーブは、前記遠位停止位置にあるとき前記細長カテーテルシースを越えて遠位方向に延びるよう、前記第 1 の距離よりも長いことを特徴とするデリバリーカテーテルアセンブリ。

【請求項 2】

前記先端保護スリーブは、一緒になって前記雌干涉部分として機能する細長シャフトおよびバックストップを備えたことを特徴とする請求項 1 に記載のデリバリーカテーテルアセンブリ。

【請求項 3】

前記雄干涉部分は前記細長カテーテルシースに固定されたバンブを備え、前記バンブは、前記細長カテーテルシースに固定されると共に前記細長カテーテルシースを包囲するバンドを備えていることを特徴とする請求項 2 に記載のデリバリーカテーテルアセンブリ。

【請求項 4】

前記バンドの遠位端は、前記細長カテーテルシース上に圧着されており、前記バンドの近位端は前記細長シャフト上に圧着されていないことを特徴とする請求項 3 に記載のデリ

バリーカテテルアセンブリ。

【請求項 5】

前記細長シャフトの近位端に固定された成形ビードを更に備えたことを特徴とする請求項 2 に記載のデリバリーカテテルアセンブリ。

【請求項 6】

前記成形ビードは、

前記細長シャフトの近位端を包囲する遠位部分と、

前記細長シャフトの近位側に延びる肩部と、

前記バックストップと

を備え、前記バックストップは前記シャフトの近位端に当接し、前記バックストップは前記雄干涉部分の外径より小さい内径を有することを特徴とする請求項 5 に記載のデリバリーカテテルアセンブリ。

【請求項 7】

前記先端保護スリーブは前記細長シャフトの近位端に固定された内側シャフトを更に備え、前記バックストップは、この内側シャフトの遠位端であり、前記バックストップは前記雄干涉部分の外径より小さい内径を有することを特徴とする請求項 2 に記載のデリバリーカテテルアセンブリ。

【請求項 8】

前記細長カテテルシース内に配置され、この細長カテテルシースの遠位端を越えて遠位側に延びるインサートをさらに備え、前記先端保護スリーブは、前記遠位停止位置にあるとき、前記インサートを越えて遠位方向に延びることを特徴とする請求項 1 に記載のデリバリーカテテルアセンブリ。

【請求項 9】

前記先端保護スリーブはシールバルブをさらに備えたことを特徴とする請求項 1 に記載のデリバリーカテテルアセンブリ。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0008

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0008】

本発明の一実施形態は、女性の身体の卵巣経路（例えば、卵管）にインサートを運ぶために使用され得るデリバリーカテテルアセンブリに関する。デリバリーカテテルアセンブリは、制御装置、遠位端と前記制御装置に接続された近位端とを有する細長カテテルシース、および、先端保護スリーブを含むことができる。前記先端保護スリーブは、細長カテテルシースに結合される (be locked onto the elongated catheter sheath) ことができるとともに、細長カテテルシースに沿った近位停止位置と遠位停止位置との間で細長カテテルシース上をスライド可能である。デリバリーカテテルアセンブリは、さらに、前記遠位停止位置を決定すると共に、先端保護スリーブが細長カテテルシースの遠位端から滑り落ちるのを防止する干涉停止部を含むことができる。例えば、前記干涉停止部は、雌干涉部分が細長カテテルシース上をスライドするのを妨害する雄干涉部分を含んでもよい。雄干涉部分は、細長カテテルシースに固定されていてもよいし、先端保護スリーブが雌干涉部分を含んでいてもよい。先端保護スリーブは、さらに、子宮鏡システムのワーキングチャンネル内にデリバリーカテテルアセンブリを挿入することに伴う流体噴出及び漏れ量を低減するためのシールバルブを組み込むことができる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0029

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

## 【 0 0 2 9 】

図5A～図6を参照すると、本発明の実施形態によるデリバリーカテーテルアセンブリ400が示されている。そこでは、先端保護スリーブ300は、細長カテーテルシース404に結合され、細長カテーテルシース404上をある長さにならってスライド可能である。デリバリーカテーテルアセンブリ400は、細長カテーテルシース404の遠位端を越えて制御装置402に向かって先端保護スリーブ300をスライドさせ、次いで、細長カテーテルシース402の遠位領域の上にパンプ408を固定することによって形成することができる。代わりに、パンプ408を細長カテーテルシース402の遠位領域上に固定し、次いで、制御装置402を細長カテーテルシース402へ取り付けの前に、先端保護スリーブ300を細長カテーテルシース402の近位端上をパンプ408の方へとスライドさせてもよい。制御装置402は、先端保護スリーブ300が細長カテーテルシース402の近位端から滑り落ちるのを防止し、近位停止位置を部分的に画定することができる。パンプ408は、先端保護スリーブ300が細長カテーテルシース402の遠位端から滑り落ちるのを防止し、遠位停止位置を部分的に画定することができる。操作者は、手で、例えば親指と人差し指で、フランジ付き止め具304をつかんで、先端保護スリーブ300を近位停止位置と遠位停止位置の間で細長カテーテルシース404上をスライドさせてもよい。

## 【 誤訳訂正 4 】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 3 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

## 【 0 0 3 5 】

一実施形態では、先端保護スリーブ300は「Essure」（登録商標）デリバリーカテーテルアセンブリに結合される。このような実施形態では、細長カテーテルシース404のIDは0.0405インチ～0.0420インチであり、細長カテーテルシース404の外径（OD）が0.0538インチ～0.0560インチである。細長カテーテルシース404はまた、商標名PEBAXで知られているポリエーテルブロックアミドで形成することができる。細長カテーテルシース404のODは、パンプ408のIDを決定するために使用されてもよい。一実施形態では、パンプ408は、0.0545インチ～0.0555インチのIDと、0.0575インチ～0.0580インチのODを有する。一実施形態では、パンプ408のIDは、細長カテーテルシース404の外径よりも小さくてもよい。別の実施形態では、細長カテーテルシース404のODは、パンプ408のIDよりも小さい。例えば、細長カテーテルシース404のODは0.0538インチ～0.0542インチである。

## 【 誤訳訂正 5 】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 3 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

## 【 0 0 3 8 】

本発明の実施形態によれば、先端保護スリーブ300はデリバリーカテーテルアセンブリ400に結合されてもよい。シールキャップを貫通するため、そして、ワーキングチャンネル内へ挿入し、子宮鏡システムのバルブクランプを通過する間、インサート406、細長カテーテルシース404またはガイドワイヤの先端を保護するために、シャフト302が使用されてもよい。一実施形態では、シャフト302と細長カテーテルシース404とを、かなりの量の流体（例えば、生理食塩水）を外に噴出（spray-back）させることもデリバリーカテーテルアセンブリから漏れ出させることもなく、子宮鏡システムのワーキングチャンネル内へと前進させることができる。体腔（body lumen）にインサート406を送るために、細長カテーテルシース404は、シャフト302を通してさらにスライドするが、デリバリーカテーテルアセンブリ400は、かなりの量の流体の漏れを許容しない。体腔にインサート406を送る（運ぶ）ために、細長カテーテルシース404は、シャフト302を通してさらにスライドするが、デリバリーカテーテルアセンブリ400は、かなりの量の流体の漏れを許容しない。次に図1

2Aを参照すると、シャフト302は、シールキャップ230の貫通可能な端306をシャフト302の先端で突き抜けることができる。シャフト302の外径は貫通可能な端部232に密に嵌合して、シールキャップ230と先端保護スリーブ300との間に水密シールを効果的に形成してもよい。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0047

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0047】

本発明の実施形態によるデリバリーカテーテルアセンブリは、女性の体の卵巣経路（例えば、卵管）にインサートを送るために利用されてもよい。デリバリーカテーテルアセンブリは、シールキャップを突き刺し、ワーキングチャンネル内に入って子宮鏡のバルブクランプを通過する間、細長カテーテルシース、ガイドワイヤ、またはインサートの先端部を保護し、また、子宮鏡システムのワーキングチャンネルにデリバリーカテーテルアセンブリを挿入することに伴う流体の噴出および漏れ量を低減することができる。一実施形態では、デリバリーカテーテルアセンブリは、制御装置、遠位端と前記制御装置に接続された近位端とを有する細長カテーテルシース、および、前記細長カテーテルシースに結合され、細長カテーテルシースの長さに沿った近位停止位置と遠位停止位置との間で、細長カテーテルシース上をスライド可能な先端保護スリーブを備えている。デリバリーカテーテルアセンブリは、細長カテーテルシース内に取り外し可能に配置されたインサートを含むことができる。一実施形態では、インサートは、細長カテーテルシースを越えて遠位方向に延びている。図5に示すように、一実施形態では、インサートは、プリフォーム屈曲部を備えている。このプリフォーム屈曲部は、卵管の湾曲部内のナビゲーションを補助するために利用することができる。このデリバリーカテーテルアセンブリを提供したとき、操作者は、先端保護スリーブ300を図6に示す遠位停止位置に位置決めするために、フランジ付き止め具304または先端保護スリーブ300の他の適切な部分を掴むことができる。シールバルブが先端保護スリーブ300に存在する場合、流体の噴出および漏れを防ぐための最適なシールを提供するために、必要に応じて、このシールバルブを細長カテーテルシース404に対して締め付けて（つまり密着させて）もよい。

【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0049

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0049】

その後、図12Cに示すように、細長カテーテルシース404の遠位端410は、子宮鏡システム200を過ぎて前進して、体管腔（body lumen）内の標的位置へ至る。次いで、インサート406をその体管腔内に配置する。操作者の好みに応じて、先端保護スリーブ300は、細長カテーテルシース404の前進およびインサート406の設置処置の間、ワーキングチャンネル202に挿入されたままであってもよいし、ワーキングチャンネル202から除去されてもよい。本発明の多くの実施形態によれば、先端保護スリーブ300が恒久的に細長カテーテルシースに結合されることがわかる。また、例えば、先端保護スリーブ300に引裂ジョイント（tear joint）を含めることで、最初にカテーテルアセンブリをワーキングチャンネル内まで進めた後、先端保護スリーブ300をカテーテルアセンブリから取り除くこともできるであろう。この場合、先端保護スリーブは、操作者が細長カテーテルシースから手で引きちぎることができる。